

## 会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 水戸市立博物館協議会
- 2 開催日時 令和4年2月18日（金） 午前10時から12時まで
- 3 開催場所 水戸市立中央図書館 3階 視聴覚室
- 4 出席した者の氏名
  - (1) 委員 桐原 幸一, 笹目 礼子, 穂積 弘行, 河原 将子, 内藤 学, 安嶋 隆,  
小塚 のり子, 添田 仁, 玉川 里子, 林 圭史, 藤本 陽子, 土田記代美
  - (2) 執行機関 小川 邦明, 鈴木 雅人, 平澤 尚子, 藤井 達也, 坂本 京子
  - (3) その他
- 5 議題及び公開・非公開の別
  - (1) 報告事項
    - ① 企画展「夏休み子どもミュージアム 妖怪参上！」の結果について（公開）
    - ② 水戸東照宮創建400年記念特別展「徳川頼房 一初代水戸藩主の軌跡」の結果について（公開）
    - ③ 令和3年度博物館事業の実施状況について（公開）
  - (2) 協議事項
    - ① 特別展「渡り鳥の不思議 一行く鳥 来る鳥」の開催について（公開）
    - ② 令和4年度博物館の主な事業計画（案）について（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称 令和3年度第2回水戸市立博物館協議会
- 9 発言の内容  
(開会のあいさつ)  
**【委員長】**  
では、議題に入りますが、報告事項のうち、企画展「夏休み子どもミュージアム 妖怪参上！」  
についての結果を報告願います。  
  
**【執行機関】**（資料説明）

【委員長】

続けて、水戸東照宮創建 400 年記念特別展についてお願いします。

【執行機関】（資料説明）

【委員長】

最初に「夏休み子どもミュージアム 妖怪参上！」について、御意見その他ございますか。

【\_\_\_ 委員】

以前もお願いしましたが、資料に会場風景の写真を載せていただくといいと思います。

【委員長】

事務局から説明があったボランティアの高齢化というのは、今後かなり大きなテーマになっていくかと思います。

【執行機関】

コロナ禍というのは大きく影響しているとは思いますが、コロナが収束しても、ボランティア活動に戻ってきていただけるだろうかと大変懸念しています。

【\_\_\_ 委員】

博物館にある資料で、ただ資料を見ただけでは分からないことがいっぱいあるので、触っていた資料は触っていただき、体験してみようというのはすごく大事なことだと思います。

コロナが過ぎ去った後、ボランティアに高齢者だけではなくもっと若い人も取り込んで、続けていけたらと思います。

【委員長】

子どもたちを見ていて思うのですが、コロナが割と重圧になっていて、何となく勉強に身が入らない、勉強に対する取り組みが減ってきている。その中でこの体験や参加型というのが、これから余計貴重になるような気がします。

【\_\_\_ 委員】

夏休み前後でリモート学習や分散登校となり、1月25日から本日までリモートになっています。ひとり1台持っているタブレットで子どもと向き合いながらやっていると、先生たちの方では、ICTの技術が伸びたと言うのですが、実際、体験は乏しくなっています。

10月の終わりごろ、コロナが下火になったので、子どもたちに頑張ってさせてみようということで、木葉下のほうを歩かせて、リンゴ狩りをさせてみました。子どもたちに聞いたら、校外学習などで定期バスに乗ったことがほとんどなかったもので、そういうのもさせてみようということ

になりました。保護者の方からはよくやってくれたというお褒めの言葉をいただきました。だからやっぱり体験は大事だなと。

今まで3年、4年生でしていたスーパーや消防署、警察署の見学は全部なくなり、先生が行ってビデオで撮ってきて、ビデオで見せることになりましたが、やはり見るだけと足を運ぶのでは違うのかなと、今、危惧している段階です。

【\_\_ 委員】

\_\_ 委員、同じ民俗の担当として、昔の暮らしなどで参加的な、体験的なコーナーをしている御苦労もあると思いますが、その辺りで助言はありませんか。

【\_\_ 委員】

他の館で今どういうふうに体験をやっているか聞いたり、もちろんコロナのステージの数値も基準にはしていますが、情報収集に苦労しています。

民俗の道具はもともと生活の中で使っていて、使った感触や重さや質感を理解してもらうことが非常に大事であると思いますので、なるべく体験は続けていく方向で考えています。

触る体験ができなくなると、触ることではその資料が分からない、視覚障害者の方の問題も出てくるかと思えます。大阪の民博に視覚障害をお持ちの研究者がいらっしゃるのですが、触りやすいものを取り入れながら展示に生かすという取組をしておられますので、このような先生方の御意見とか最新の取り組みも参考にしつつ続けていきたいと考えています。

【執行機関】

かつて、盲学校の先生から、全盲の生徒さんのために、真っ暗にして小さな光を見せるあかり体験をぜひやってほしい、マッチを擦る気配とか火が付く気配を感じたいというふうに言われて、その気配という言葉に非常にびっくりしました。障害者向けの展示もこれから考えて対応していくと、特徴がある展示ができるのかなと思います。

【\_\_ 委員】

作り上げてきた体験的なものはぜひ引き継いでいっていただきたいと思います。大きな市博の財産だと思いますので。

【\_\_ 委員】

これまでやってきたことをいろいろ厳しいからできないと言わざるを得なくなっていることは、予算や人の配置など、この博物館を充実させるために必要不可欠なものが来ていないという状況が大きいのではないかと感じますので、市にもっと要求していかなければいけないのではないかと思います。

ボランティアの方たちが高齢化して大変ということで、これまでやってきたことをつなげていけるような新たなボランティアを広く募集するというのも、予算的に難しい部分があるのかと思うので、その辺りの改善を求めていっていただきたいし、長年作ってきた特徴的なことをつない

でいくという意気込みで頑張っていたきたいと思います。

**【委員長】**

次の「頼房」のほうの御意見をいただけますか。

**【\_\_ 委員】**

頼房はどこも取り上げていなかったのが、一生懸命に資料を集めて展覧会にしたというのは素晴らしいと思います。

ただ、アンケートに、予約して来たのに特に確認されなかったという意見がありますが、受付での対応はきちんとしたほうがいいのではと思いました。

ショーケースの隙間が気になりましたという意見がありますが、他のところからも大事な貴重な資料をお借りしているので、直すところにはきちんとお金をかけて直していただきたい。資料を守るということが博物館の一番大事なことでもありますので、壊れているなら展示はしないほうがいいと思います。

**【\_\_ 委員】**

非常に充実した展示だと思って見せていただきました。特に頼房というこれまで注目されていない人物にフォーカスをされており、書状を丁寧に説明されていて、他藩の人たちとの交流がよく分かる内容の書状が選ばれていて、さすがだなと思いつつながら、見せていただきました。

そのことを前提に申し上げますが、見せたいものとその見せるための様々な道具がマッチしていない。特にそれを感じたのは絵図ですが、距離が離れているし、ライトの当て方もあるのか、細部が見えない。上からのぞき込めるようなケースが必要と思うのですが、それが準備できなかったということは、恐らく数が足りないなどということがあるのではないかなど。学芸員の方は一生懸命より良いものを準備されようとしているが、それにハードの部分が追いついていないという問題を、博物館としてまた市としてどうバックアップしていくかは考えなければいけないのではないかと思います。

**【執行機関】**

ビジュアル的にどう見せるかは大変重要な問題ですが、長い絵巻物の類は、当館の展示ケースの構造上、近くに寄って見るというのがかなり難しいものではあります。できれば間近で見たいという内容でも、それが見せられるケースや設備が十分ではないというのは弱点でありますし、貴重な文化財の展示・保管をする上で当館はかなり弱い部分がありますので、しっかり検討はしていかなければならないと考えております。

**【委員長】**

せめて壊れているものの補修ぐらいは優先にお願いしてはいかがでしょうか。

**【執行機関】**

貴重なものを壊してしまっただけでは全く意味がないので、まずは総点検をして、予算もプロジェクトがいろいろあり、またコロナで支出が大きい中で、財政部門と相談しながら、まずできるところから一歩ずつさせていただければと思います。

【\_\_\_ 委員】

入館予約をしたのに確認されなくて戸惑ったというアンケートもあったということですが、お声がけをするとか、今の時間はすいているので当日の方でも御覧いただけますとか、混んでいるのでちょっと確認させていただきますとか、そういう表示をしておくだけでも違うのかなと思いました。

【委員長】

次に報告事項(3)の令和3年度博物館事業の実施状況についてお願いします。

【執行機関】（資料説明）

【\_\_\_ 委員】

感染拡大防止のための取組ですが、インターネットでの予約がいっぱいになってしまったなどということはありませんか。

【執行機関】

実際にはありませんでした。予約をせずに来てしまう方もいましたが、予約の状況と調整をして、入館していただきました。

【\_\_\_ 委員】

「このまちの空襲を若者たちが伝えてみた」を Zoom で視聴しました。進行役の方も経験豊富なのか上手に流れていって、第2次世界大戦の前の時代の背景から先生方の説明があって、それから高校生たちの戦争体験の朗読を聞いて、非常に考えられた構成であったと思いました。

【\_\_\_ 委員】

収集や保存など歴史的な資料をしっかりと守り伝えていくというのも博物館の仕事だと思いますが、今年度、寄託や寄贈、購入したものはありますか。収集している資料で補修をしたなどの報告がないので、ぜひ資料の収集や保存に関わる情報がありましたら載せていただければと思います。

【執行機関】

御指摘いただいた展示ケースの修繕は、今手配しているところです。

【\_\_委員】

資料の寄贈や寄託はなかったのでしょうか。

【執行機関】

歴史関係ですと、現在、資料購入の予算が付いていない現状ですので、購入資料はありません。

市民の方からは、旧制水戸高等学校関連資料や戦争関係資料、江戸時代の書状資料などを多数寄贈いただいております。

予算的には昨年度にはなりますが、千波湖の草刈りをするときの絵図を修復して、頼房展に合わせて初公開するという試みもありました。

【\_\_委員】

予算的に購入費や補修費は難しく、大きな特別展の中の予算で修復などをされているのかとは思いますが、文化予算はぜひ確保していただけるようお願いしたいと思います。

【委員長】

それでは、協議事項の特別展「渡り鳥の不思議」の開催についてお願いします。

【執行機関】（資料説明）

【委員長】

続いて、令和4年度博物館の主な事業計画（案）についてお願いします。

【執行機関】（資料説明）

【委員長】

進行を事務局にお返ししますので、よろしく願いいたします。

【執行機関】

それでは、以上を持ちまして、令和3年度第2回水戸市立博物館協議会を閉会といたします。